

【2008年10月4日長野市民新聞】

25、26日に全国路地サミット

路地や小路を巡って町づくりを考える「全国路地サミット2008」が長野が25、26の両日、善光寺かいわい松代町で開かれる。全国から地域の歴史・文化の発信や町づくりに興味のある人々の参加を募り、両地域の「まち歩き」やフォーラム、交流会を通じて情報交換する。

善光寺かいわい 松代巡り交流へ

「まち歩き」として午前10時～11時30分に、善光寺七小路と地蔵をテーマに2コースに分かれて門前町を巡る。参加費500円で、午前9時30分から善光寺大本願明照殿入り口で受け付ける。

講演や事例発表も

参加者を募る



全国路地サミットが開かれる長野市内（法然小路）

を用意する。参加費3500円。

2日目は「松代まち歩き」（午前10時止正午）参加費500円。で、旧松代藩文武学校や旧武家屋敷などを見学する3コースを設定。参加者は午前10時に松代城跡入り口に集合する。午後6時から松代大本営家山地下壕（こつ）を歩くオプションコース（参加費300円）もある。

いずれも申し込みは13日までにSHINKAWA地域文化企画室内の実行委事務局（ファクス26916166）ホームページ

サミットは全国各地を会場に毎年開催しており、今年で6回目。長野市やNPO長野都市経営研究所など、光寺界限（かいわい）くる実行委員会と、全

第2部は、午後1時～5時20分に明照殿で「路地サミットフォーラム」を開催。元「長崎さるく博」プロデューサー茶谷幸治さんの

基調講演と、「路地のまち」で町づくりを進めている全国6都市の事例発表、善光寺周辺の松代町での「まち歩き」の事例発表、パネル

第3部の交流会（午後5時30分～7時、明照地下ホール）では、地酒や地元食材の料理

路地を生かした街に

25・26日の両日
全国サミット

長野

路地を生かしたまちづくりを
探る「全国路地サミット」が二十五、二十六日、長野市の善光寺周辺や同市松代町で開かれる。県内外のまちづくり団体、研究者らによる事例発表やパネル討論のほか、地元団体が案内する「まち歩き」を計画。長野市内のNPOや市民グループなどでつくる実行委員会は、一般の参加者を募集している。

全国路地のまち連絡協議会（東京都）が二〇〇三年に東

京都北区で始め、六回目。県内では〇六年に諏訪市で開いた。今回は、街づくりや文化活動を支援するISHI KAWA地域文化企画室（長野市）代表の石川利江さんが「多くの人に長野市内の路地の素晴らしさを知ってもらいたい」と開催地に立候補した。

二十五日は善光寺大本願から宿坊が並び、地蔵がまつられている同寺周辺の小路を巡る。大本願で開くフォーラムでは、まち歩きをテーマにした「長崎さるく博」の茶谷幸

治・元プロデューサーの講演や大分県別府市や神戸市などの事例発表がある。二十六日は長野市松代町の松代城跡から、武家屋敷、町屋・寺町、路地裏探検―など三コースに分かれて散策する。

石川さんは「サミットをきっかけに、街づくりや郷土研究で市内外の団体の連携を進めたい」と話している。

参加費は、各日のまち歩きとフォーラムがそれぞれ五百円。二十五日午後五時から大本願で開く交流会は三千五百円。申し込み・問い合わせは実行委事務局（☎026・269・6161）へ。

失いがちな生活文化、人情味……

見直そう!! 小路から

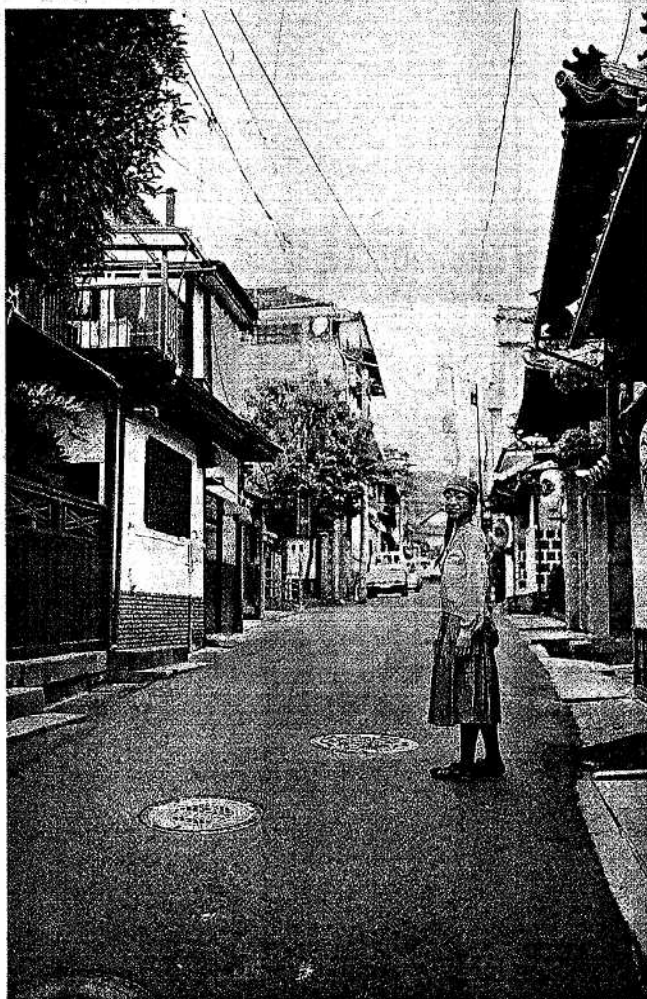
路地を見直し、より良いまちづくりに生かそうという「全国路地サミット2008 in 長野」が25、26日、長野市で初めて開かれる。善光寺周辺と長野市松代の路地を散策する「まち歩き」と、講演などのフォーラムを通じて、現代の都市が失いかけている生活文化や人情味を再発見する「旅」となりそうだ。

【大島英吉】

25日は、善光寺周辺 など、江戸時代に城下の小路がテーマ。普段 町として栄えた歴史をは表参道に目が行きがちだが、脇道や路地裏などを散策し、善光寺周辺の魅力を探る。上堀通りなど周辺の7小路を歩くコースと、地藏を中心に門前町を巡る2コースがある。

26日は、長野市松代で文武学校や武家屋敷

長野で 25、26日 全国路地サミット



サミットで散策する善光寺周辺—実行委提供

気漂う路地裏探訪をうり組みが発表される。まくアレレンジした大分 路地サミットは、03 年に東京・十条で始ま

善光寺・松代周辺を散策

った。これまで東京・神楽坂、静岡・新居町などで開催し、県内では06年の諏訪市に続き2回目。

実行委事務局長の石川利江さんは「路地を歩くと、地域住民の暮らしや文化を知ることができる。善光寺だけでなく、路地の魅力を

見つけてほしい」と語り、多くの参加を呼び掛けている。

参加費は、まち歩き各500円▽25日のフォーラム500円。各コース約1時間半〜2時間で、当日選択。問い合わせは同実行委事務局026・269・6161まで。



たため、同期間を返還対象にした。
正垣社長は「関係者、お客さまに多大な迷惑をかけ、すべてのことが後手になったことをおわび申し上げる」と謝罪した。問い合わせはサイゼリヤお客様相談室☎0120・209・629。

24時



○長野市横沢町のフリーライター清水隆史

さん(38)が市内の風景をとらえた写真展「街並み日記」を同市南石堂町のギャラリー「your style」で開いている。写真。五年ほどかけて撮りためた六十九点が並ぶ。
○清水さんも実行委員を務める「全国路地サミット」が二十五、二十六日に善光寺周辺で開かれるのに合わせた企画。雪が降る中、古びた家の前を歩く女性や、車のテールランプが幾筋も重なる長野駅前の夜景などが印象的だ。

○清水さんは「街の日常」にこだわって撮影したといい、「長野の街並みも捨てたものじゃないです」。十一月三日まで。入場無料。



ガイドの説明を聞きながら、宿坊が並ぶ路地を歩く参加者ら。長野市内で

路地サミット開幕

善光寺散策 まちづくり発表も

路地を楽しんで歩き ミット2008IN長野が始まった。二十六日までは、まちづくりや地域文化の発信について考える「全国路地サミット」(同実行委員会主催)が二十五日、長野市で六回目。全国各地から百五十人が集まった。午前中は、善光寺周辺の路地を散策。地元郷土史を研究する市民グループなどがガイドを務め、善光寺を取り囲む「七小路」や、地蔵がある路地を歩いたりした。

午後には開かれたフォーラムでは、地域の歴史や文化を生かしたまちづくりについて発表したり、路地を生かしたまち歩きについて話すなど、熱心に情報交換した。

初めて参加したという長野市杏花台の無職小川製袋次さん(66)は「普段は車で走ってしまつても、歴史や伝説に関係があり、奥が深くて面白かった」と話した。

二十六日は午前十時から、同市の松代城跡入り口に集合し、まち歩きを行う。当日参加できるが有料。問い合わせは事務局☎026(269)6161へ。(柚木まり)

街中の路地を観光資源として生かす試みについて考える「全国路地サミット」が25日、長野市で2日間の日程で始まった。市内のまちづくり団体などでつくる実行委と、全国路地のまち

連絡協議会(東京)が主催。善光寺周辺を歩く催しや、まちづくりをテーマに意見交換するフォーラムがあり、県内外の約200人が路地の魅力をあらためて見つめ直した。

路地の魅力見直そう

路地の良さを観光に生かそうとの意見が相次いだパネル討議―善光寺大本願



長野

全国サミットが開幕

飯田の散策事例も紹介

フォーラムは、善光寺大本願で同日午後に行われ、初めに長崎市内の街歩きイベント「長崎さるく博」を手がけた茶谷幸治さん(62)「兵庫県」が講演。路地歩きはその土地の暮らしや歴史文化を知る機会―と強調し、地元の人たちが観光案内する手法は「これからのまちづくりの本流になる」と述べた。

事例発表もあり、飯田市で早朝に街路を散策する「モーニング・ウォーク」に関して、代表の牧野忠彦さん(74)が「名所旧跡を学ぶ機会につながっている」とアピールした。

昔ながらの路地を生かしたまちづくりについて静岡県や大分県、東京都のNPO代表や研究者らも取り組みを紹介。参加者も交えたパネルディスカッションでは、観光のあり方をめぐって「市民の力で街の良さを発信したい」といった意見が出た。

サミットは二〇〇三年から毎年開いており、県内は一昨年の諏訪市に続き二回目。二十六日は午前十時から長野市松代町の史跡を散策する。

街の魅力見直そう

長野で「路地サミット」

古い街並みが残る長野市の善光寺周辺で25日、「全国路地サミット」が開かれ、全国から集まった約200人が地図やカメラを手に路地を探索し、街づくりについて意見を交わした。

同サミットは今回が6回目で、県内では2006年の諏訪市に続き2回目。長野市や、市民団体「歴史の町長野を紡ぐ会」、NPO法人「長野都市経営研究所」など計10団体で作る長野実行委員会が招致した。

この日は2組に分かれて善光寺周辺の宿坊や寺社仏閣、善光寺七小路などを散策。

その後、善光寺境内で行われたフォーラムでは、市川浩一郎実行委員長が、「街が持つ歴史を掘り起こし、足元の資源や財産を街づくりに生かすことが重要。このサミットをきっかけに地域を見直してほしい」とあいさつ。長野市や飯田市、

神戸市、神楽坂（東京都新宿区）など全国7地区の代表が街づくりの事例を報告した。
京都市から参加した京都大大学院生（都市社会工学

専攻）、飯野夏美さん（24）は「善光寺周辺には人がたくさん集まっていて、いいところだと感じました」と話した。

26日も午前10時から正午まで長野市松代町で散策が行われる。当日参加もでき、参加費500円。問い合わせは実行委員会（☎026・269・6161）へ。

路地観光の可能性探る

市内で
サミット

路地を生かしたまちづくりを考える「全国路地サミット2008-IN長野」が25、26の両日、市内で開かれた。全国各地からまちづくりにかかわる約200人が参加。善光寺かいわいと松代町のまち歩き、フォーラムを通じて路地観光の可能性を探った。

初日に善光寺大本願で開いたフォーラムでは、路地を生かしたまちづくりを進める静岡県新居町や大分県別府市、新宿区神楽坂、飯田市、諏訪市、神戸市の6都市の代表者が事例発表。

長野市内からは「歴史の町長野を紡ぐ会」代表の小林玲子さんと

長野郷土史研究会青年部長の小林竜太郎さんが、善光寺門前で実施している七福神巡りや大林宣彦監督の映画「転校生」のロケ地巡りなどを紹介。NPO法人「夢空間松代のま

ちと心を育てる会」の丸山日出夫さんが、松代町内の散策コース開発や古い建物の登録文化財指定を目指す活動を報告した。

サミットは「全国路地のまち連絡協議会」が全国各地で毎年開いており、6回目。今年

善光寺周辺をまち歩きする参加者



は長野市や都市経営研究所などでつくる実行委員会と同協議会が主催した。実行委事務局の石川利江さんは「路地は歴史と暮らしが感じられ、観光資源になり得る場所。長野の路地の魅力を全国の人に知ってもらうとともに、地元の人にも意識してほしい」と話していた。(11月4日付でサミットを特集します)

9 2008年(平成20年)11月4日(火)
長野市民新聞
(第三種郵便物認可)

力土、道端、が持ち上げた、と伝わる
巨石がある、矢島地区、武井神社境内



生活感があふれる細い路地を歩く



路地を生か まちづくり

路地を生かしたまちづくりを考
える「全国路地サミット」のOB
「N長野」が10月25、26日、市内
で開かれた。全国各地からまちづ
くりにかかわる約200人が集
い、善光寺かいわいと松代町でそ
れぞれまち歩きを体験。善光寺大
本願で行ったフौरラムと併せて
「路地観光」の可能性を探った。
パネルディスカッションや基調講
演の要約と、まち歩きの様子を紹
介する。

(酒井ま奈子、山崎「輔」記者)

市内で全国サミット



善光寺かいわい

曾我兄弟を中った虎
御前ゆかりの石「手
前」があることから
名が付いた虎小路

まち歩き楽しむ



木々の緑と武家屋敷に挟まれた真田公園内の路地



中央通り沿いの
には左馬五郎が彫った
の彫刻が残る



国重要文化財「旧横田家住宅」前の通り



鳥居を境に境内と連なる裡
(ほおひ) 神社前の鳥居小路



松代



広報

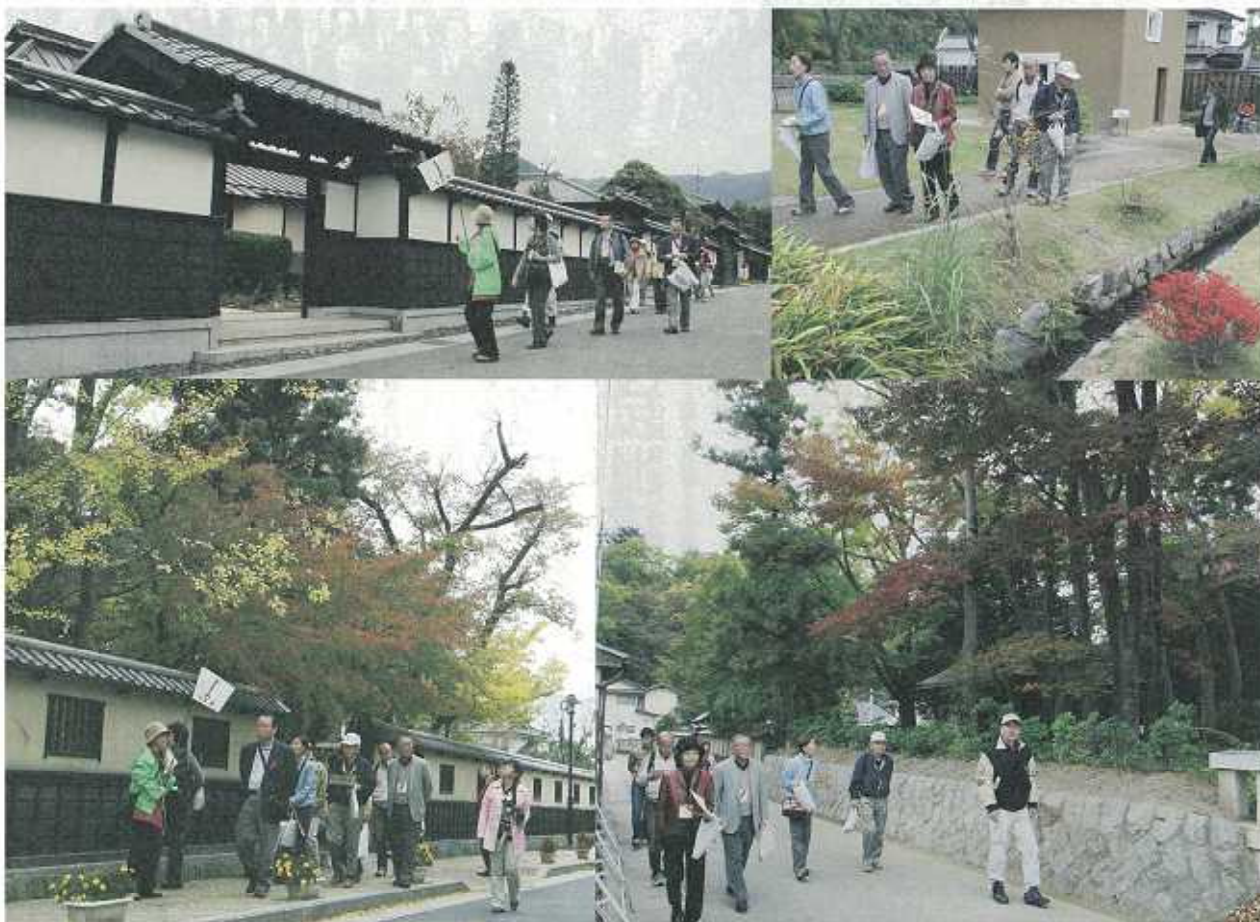
ながの

NAGANO

H20年(2008年)

11.15

No.1450



も く じ

●平成20年度 長野市表彰式	2・3
●財政指標の公表	3
●ごみ焼却施設建設事業の環境影響評価	4
●事業所の緑化推進	5
●安全なふく料理を食べましょう	6
●フォトニュースNAGANO	7
●12月の無料市民相談	8・9
●身近なことから環境活動！	9
●12月の健診日程	10
●くらしのチャンネル	11～18
●ちょっとそこまで～ウッチーが行く！～	19
●「高原の冬」を楽しもう！～飯綱高原イヤー～	20

歴史と文化を巡る路地観光

～「全国路地サミット2008 IN 長野」開催

路地・小路を生かした観光・伝説・文化を巡るまち歩きの魅力を探ることを目的に、東京や大阪などで開催されてきた「全国路地サミット」。6回目の今年は、全国各地から200人を超える参加者が集まり、10月25日(土)・26日(日)、善光寺界隈および松代町内で開催されました。

このうち、26日(日)の「松代まち歩き」では、参加者が3コースに分かれて町内を散策。文武学校・武家屋敷など江戸時代の面影を今に伝える歴史の道を通り、武家屋敷に残る泉水路を見学するなど、路地観光を満喫していました。

市政情報はホームページでもご覧になれます

<http://www.city.nagano.nagano.jp/>

土曜新聞版17000部(再発行部)を印刷しています

平成 21 年 4 月

全国路地サミット 2008IN長野報告書

全国路地のまち連絡協議会

〒105-0002 東京都港区愛宕 1-1-9 愛宕チャンピオンビル 4 F
(NPO)日本都市計画家協会内

TEL .03-5401-3359／FAX .03-5401-3389

<http://jsurp.net/roji/>

